

### 第2回愛護補導連絡会を開催しました

日頃よりPTA活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。  
11月17日(水)に稲小ホールにて、第2回愛護補導連絡会を開催致しました。  
第1回は、総合教育センターにて市内の学校、関係機関の方が参加し情報交換会を行いました。  
第2回は、小学校ごとに開催し、少年愛護センターの方を中心に少年補導委員さんや色々な部署の方々と情報を共有しました。第2回愛護補導連絡会の内容の一部をご紹介します。

#### 第1部 「情報交換会」

- ・市内不審者報告31件中稲野小学校区3件(10/31現在)  
→つきまとい・声掛けなど 市内で多い方
- ・補導委員による会話・声掛けを積極的に  
→見守られている安心感
- ・コロナ禍における不登校 全国的に増…稲野も増  
→生活リズムの乱れ・家庭環境の変化
- ・決められた通学路以外で下校したり車道をはみ出して  
下校する児童がいる
- ・子どもたちから「いつもみまもりありがとうございます」と言われてうれしい、ありがたい経験である
- ・自治会の加入率減 → 若い人にも加入してほしい



**\* 下校時「見守り隊」の方々が子ども達を安全に見守ってくださっています。通学路を守って子ども達からも元気よく挨拶ができるようにおうちでもお話ししてみてください。**

**少年補導委員さんとは**

稲野小学校の校区内に9人の少年補導委員さんがいらっしゃいます。主に夜の公園でのたむろや自転車の無灯火など見回ってくださっています。

赤いジャンパーの方々

**主任児童委員さんとは**

伊丹市内に9名の主任児童委員さんがいらっしゃいます。主に子どもを見守るお仕事をされています。児童虐待防止のひょうごオレンジネット(オレンジリボン)の活動をされています。

**見守り隊とは**

稲野小学校区内のボランティアの方々が毎日子ども達の登下校時に立ってくださっています。現在50名程で活動。高齢となりどんどん人数が減少しているそうです。

黄色のジャンパーと帽子の方々

#### 第2部 「コロナ禍における子どもたちの様子(学校・家庭・地域)」

稲野小学校 生徒指導担当 拝野先生より講演して頂きました。  
ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

- ・コロナ禍における子どもたちの「問題行動」を機に子どもの声を聴く  
…①畑のブロック散乱②体育館入口の手すり損傷③トイレ掃除後の遊んだ形跡  
④便座に付着の瞬間接着剤⑤トイレ窓ガラスのひび割れ
- ・「子育て」は「親育て」…転ばぬ先の杖を用意しないこと。転んで学ばせる。  
そのためには、「見守る」が基本。
- ・子どもの「やる気スイッチ」は?…スイッチは子どもが押す。  
「やればできた」「やらなければできなかった」という経験の蓄積。特に後者。
- ・子どもとの距離感?…「手を離しても目を離さない」という距離感が最適

